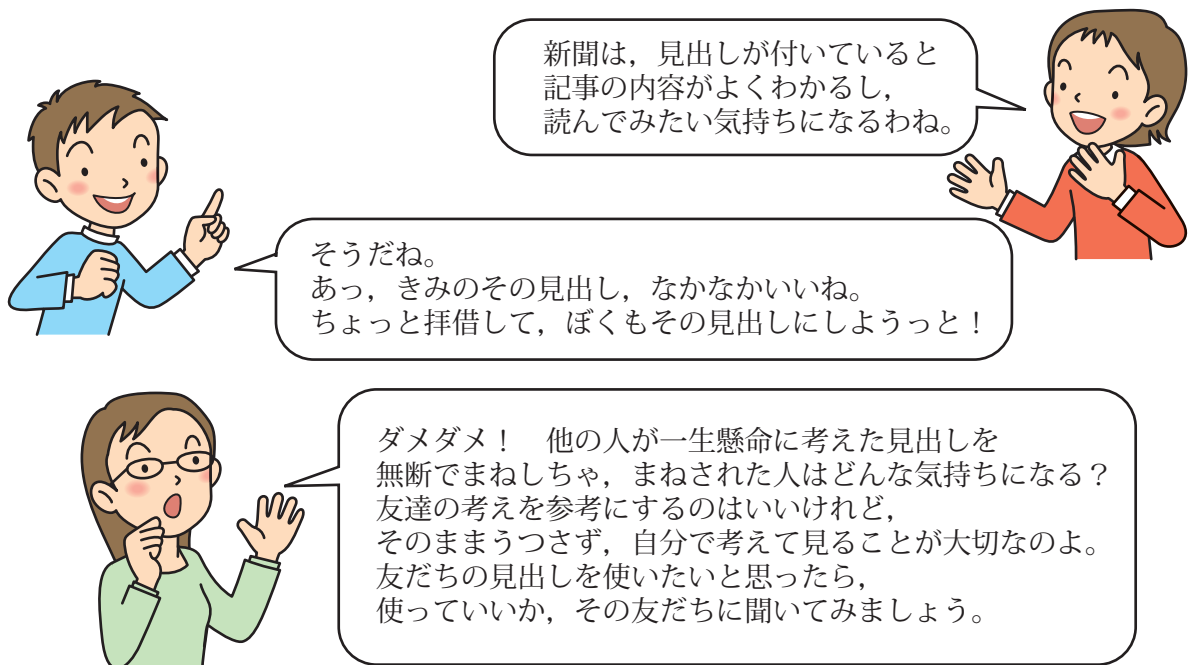


歴史のまとめ新聞作りで、 友だちの見出しを無断でまねる

社会
6年

歴史学習をふり返り、興味を持った人物を調べて歴史新聞を作ってまとめるという学習場面を想定した事例。「段階的指導モデル」の「A」に該当する事例である。

5分の指導でモチベーションが高まる



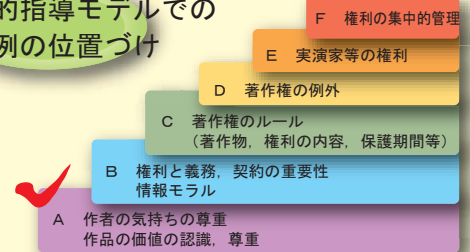
「著作権教育」の学習のねらいと指導のポイント

- 見出しのような短い文章にも、著作権があり、他人の作品を無断で使ってはいけないことを理解させる。
- 自分で考え、オリジナルの見出しを作ることの大切さを理解させる。
- 最初に考え、作った人への気持ちの尊重とその作品の価値について考えさせる。

他の教科への応用例

- 国語での作文や詩、俳句などの創作活動

段階的指導モデルでの 本事例の位置づけ



もっと時間をかけて、ていねいに指導する場合には

学習内容	教師の発問と子どもの反応	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ●歴史新聞作りで歴史に強くなろう。その時代に登場し、活躍した人物を取りあげ、図書館やインターネットで調べたことで表現する。 	<p>発問例：○○時代の歴史上の人物や出来事について、調べたことや分かったことを、新聞にまとめてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで興味のある人物を調べる。 ・図書館の図鑑などで調べて参考にする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ●新聞づくりのポイントやまとめの表現のポイントは見出しである。まとめた文章に、見出しを考えさせる。 	<p>発問例：見出しでその記事を読みたいかどうかが決まるので、一生懸命考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか思いつかない。 ・友だちの見出しをまねる。 <p>発問例：友だちが書いた見出しを自分の新聞にそのまま使ってもいいのかな？ 考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命考えたのに、無断でまねされたらどんな気持ちになる？ ・いやな気持ちになる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ●自分で考え、オリジナルの見出しを作る大切さを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い見出しのような文章も著作権に関連する著作物のひとつであり、無断で使ってはいけないことを理解させる ・まねたり、参考にしたりする活動を通じて、自分の中で考えを発展させることが重要であることを理解させる。 	

この事例の実践に参考となる教材・資料

文化庁「楽しく学ぼうみんなの著作権」（小学生のための著作権教材 真似してかいたらいけないの？ コピーしてはいけないの？）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/tanoshiku/>



文化庁「著作権なるほど質問箱」（「引用」で検索）

<http://chosakuken.bunka.go.jp/naruhodo/>

